

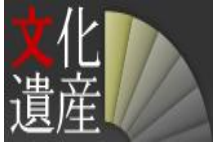
総務省シンポジウム
「文化遺産デジタルアーカイブの利活用の拡大に向けて」



開催報告

平成18年3月24日

文化遺産アーカイブワーキンググループ・グループリーダー
高島 秀之



開催概要

- 日 時 : 平成17年7月5日(火) 13:30~16:30
場 所 : 中央合同庁舎2号館 地下2階講堂
主 催 : 総務省
プログラム : ◆基調講演
 国立情報学研究所 顧問 末松安晴様
 「文化遺産デジタルアーカイブの意義と今後の可能性」
 ◆文化遺産アーカイブ実証実験報告
 東日本電信電話株式会社 加藤晃市様
 ◆パネルディスカッション
 ・博物館・地方自治体における取組について
 ・デジタルアーカイブの二次利用への取組の現状について
 ・文化遺産デジタルアーカイブの利活用拡大への課題及び
 政府への期待

【ポイント】

- ◎2か年の実証実験を通じて得られた成果を広く紹介し、今後の利活用の促進に向けた更なる課題や取組の方向性について、幅広い関係者の議論を通じて、検討することを目的として開催。
- ◎一般公募により、110名を超える聴衆が参加。(事前登録者は130名超)
- ◎基調講演、実証実験報告の後、活発なディスカッションが実施され、文化遺産アーカイブのネットワーク利活用の普及に向けた諸課題の解決に向けた意見が交わされた。



基調講演概要

テーマ

- ◆「文化遺産」・「アーカイブ」の意義と定義
- ◆「文化遺産オンライン構想」に基づく総務省・文化庁の取組
- ◆国立情報学研究所等のデジタルアーカイブの取組



文化遺産アーカイブ実証実験報告

◆総務省実証実験システムの説明

実証実験の目的

実証実験フィールド

実証実験システムの概要

◆総務省実証実験システムのデモンストレーション

メタデータ作成方式

検索方式・利用制御・権利保護方式

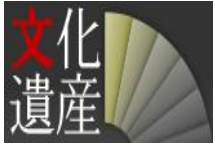
コンテンツの二次利用方式

コンテンツの課金方式

コンテンツの真正証明方式

◆総務省実証実験システムの今後の利用イメージ

※参考資料1参照



パネルディスカッション(1)

	氏 名	所 属 / 役 職
1	高島 秀之 氏 (コーディネーター)	文教大学 情報学部 教授
2	浅野 幸治 氏	大阪府企画室 副理事兼課長 (科学・情報)
3	安達 文夫 氏	国立歴史民俗博物館 教授
4	天野 昭 氏	佛教大学 社会学部 教授 (月刊ニューメディア 発行人)
5	岸上 順一 氏	日本電信電話株式会社中期経営戦略推進室 サービス戦略 担当理事
6	久保田靖夫 氏	大日本印刷株式会社 C & I 事業部 A T 推進室 室長
7	斎藤 伸雄 氏	凸版印刷株式会社 情報ビジネス開発本部 研究開発部 課長
8	田良島 哲 氏	東京国立博物館 事業部 情報課 情報管理室長
9	松井 英生 氏	総務省 大臣官房審議官 (情報通信担当)

パネルディスカッション(2)

◆博物館・地方自治体における取組

- 東京国立博物館におけるデジタルアーカイブ取組
- 国立歴史民俗博物館におけるデジタルアーカイブ取組
- 大阪府におけるデジタルアーカイブ取組

◆デジタルアーカイブの二次利用への取組の現状について

- 京都市におけるデジタルアーカイブの二次利用の取組
- 大日本印刷株式会社における具体的なビジネス活用事例
- ビジネス利用にあたっての課題(課金、権利)
- 通信事業者からみたデジタルアーカイブ
- 総務省における取組

◆文化遺産デジタルアーカイブの利活用拡大への課題及び政府への期待

- 利活用拡大には、観光政策や都市政策等の連携による検討が必要である。
- 博物館・美術館におけるコスト及び人的リソース問題への対処が必要である。
- 文化遺産アーカイブは国外にもニーズがあると思われる。